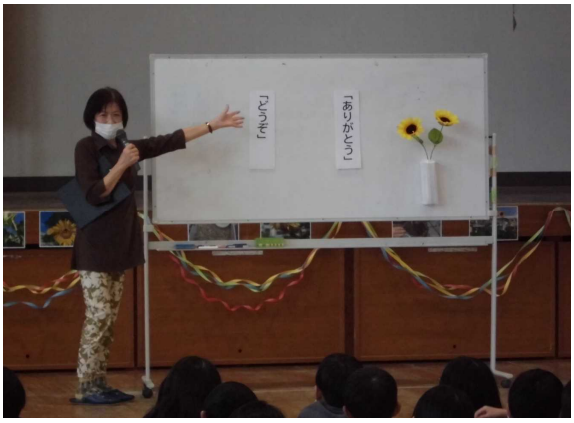
【福岡人権擁護委員協議会】

令和５年１１月２日、粕屋町立仲原小学校で、「人権の花運動」参加校への感謝状贈呈式を実施しました。児童たちは、「ひまわりの花を育てることで、命のつながりを感じた」、「次にひまわりを育てる３年生にも同じ体験をしてほしい」と話していました。感謝状贈呈式の後には、粕屋町の人権擁護委員が障害者問題に関する劇を行い、困っている人を見掛けたときには、「何かお手伝いしましょうか」、「何をしたらいいですか」と声を掛けてみようと伝えました。



【福岡人権擁護委員協議会】

令和５年９月３０日と１０月１日の２日間、糸島市の「糸島市民まつり」に、人権擁護委員が参加し、人権啓発活動を行いました。

ブースを出展し、オリジナルのパネルで、人権擁護委員の活動を紹介したり、来場者に対し、「人権擁護委員を知っていますか？」、「みんなの人権１１０番を知っていますか？」といったアンケートを実施しました。人ＫＥＮあゆみちゃんが登場すると、こどもたちは駆け寄って話しかけたり、写真撮影をしたりしていました。

なお、アンケートの結果、人権擁護委員を知っていると回答した人は全体の３２％で、特に、３０代以下の認知度が低いということが分かりました。これからも人権擁護委員の広報活動を継続していきます。

【福岡人権擁護委員協議会】

令和５年９月２４日（日）、人権をテーマにした福岡市の「ハートフルフェスタ福岡」と社会福祉法人柚の木福祉会主催の「ハートｔｏハート」に、人権擁護委員が参加し、人権啓発活動を実施しました。

「ハートフルフェスタ福岡」では、現在、福岡市に多く在留する外国人の人権をテーマに啓発活動をしました。

また、「ハートｔｏハート」では、人権擁護委員と人ＫＥＮまもる君・人ＫＥＮあゆみちゃんが、ステージ上で「人権体操」をして盛り上げ、さらに来場者に対し、関心のある人権課題についてアンケートを行っていました。

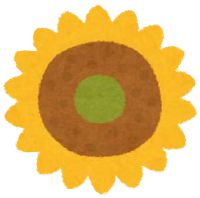
なお、宇美町を拠点に活動している「ばってんジャー」を含む多くの方が参加してくれたアンケートの結果は、「こども」や「障がいのある人」といった人権課題に多くの関心が寄せられていました。

★　ハートフルフェスタ福岡　会場

★　ハートｔｏハート　会場

【福岡人権擁護委員協議会】

令和５年７月１３日、粕屋町の人権擁護委員が、「人権の花運動」を行っている粕屋町立仲原小学校３年生の児童約１４５人を対象に、いじめをテーマにした人権教室を実施しました。児童たちは、登場人物がどんな気持ちであったのか考え、意見を活発に出し合うことで、自分の思いをはっきりと伝えることの大切さを学んでました。また、人権擁護委員が、困ったときには「こどもの人権ＳＯＳミニレター」により相談するよう呼びかけると、児童たちは「困ったときにはＳＯＳ！」と大きな声で繰り返していました。



【福岡人権擁護委員協議会】

令和５年７月、福岡市、宗像市、糸島市の小学校を対象に、プロバスケットチーム「ライジングゼファーフクオカ」の選手を講師に迎え、福岡市の人権擁護委員とともに人権・スポーツ教室を実施しました。人権擁護委員と選手から、一人ひとりが安心してスポーツを楽しむためには、どんなことが大切かを教えられた生徒たちは、大きな声を出して応援をし、ミスをしても仲間を責めずに協力しながらプレーをしていました。プレー後には、グループで話合いをし、悪口を言わないこと、励まし合うこと